

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回米原市環境審議会
開 催 日 時	平成 29 年 5 月 31 日（水） 午前 10 時 00 分～午前 10 時 55 分
開 催 場 所	米原市役所米原庁舎 会議室 2 A
出席者および欠席者	出席者：伊藤和典委員、伊夫伎博夫委員、卯田隆委員、柏英樹委員、門脇政光委員、高森茂美委員、中野桂委員、仁連孝昭委員（会長）、室谷菊司委員、八上弥一郎委員 事務局：木村課長、松居課長補佐、中寫主査、鎌田主任（環境保全課） 傍聴者：0 人 欠席者：嶋野美知子委員、須藤明子委員（副会長）、谷口絹代委員、藤田知丈委員
議 題	報告事項 ・米原市役所地球温暖化対策の平成 28（2016）年の取組結果について ・第 2 次米原市環境基本計画基礎調査報告書（最終版）について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 米原市役所地球温暖化対策について、温室効果ガス排出量削減のため、重点的に政策として取組む項目を明確化することとされた。 ➤ 米原市役所地球温暖化対策について、市民に温暖化対策の取組の必要性や効果を周知する役割を果たせる率先実行計画となるよう、PDCAサイクルの強化をすることとされた。また、エネルギー使用量の削減、働き方改革との相乗効果などもふまえた取組を進めることとされた。 ➤ 第 2 次米原市環境基本計画について、将来像に併用する文章について、5 分野に分け、市民の意見を反映し、誰もがどこかで関連するようなものにする事とされた。また、計画策定の情報発信のツールとして、SNS や映像発信を検討することとされた。 ➤ 第 2 次米原市環境基本計画について、地に足のついた推進体制を作ること、着実に達成できる計画になることに重点を置くこととされた。また、審議の過程や結果の見える化を図るため、市民がプロジェクトを提案し、市民が決めるという仕組みを取り入れてはどうかという提案がなされた。
環境保全課長	1 開会 (開会あいさつ)
事務局	2 議事 事務局から「米原市役所地球温暖化対策の平成 28（2016）年の取組結果」について説明（資料 2）。

委員	<p>水道使用量が増えた原因は保育園機能を公民館に移したことによるものか。また、ディーゼル（軽油）が減少してガソリンが増加しており、おそらくディーゼル車からガソリン車に移行しているのだと思うが、バイオディーゼルの使用はどうか。また、単体で見ればガスヒーポンは効率が良いはずだが、灯油よりも使い勝手がいいので、灯油の削減効果よりもLPGの増加が大きくなってしまっているのが気になる点である。</p>
事務局	<p>水道使用量の増加は施設の漏水に気づくのが遅れたこと等によるもの。すぐに感知して対応するよう周知、改善したい。BDFについては家庭から廃油を各庁舎に集めていただき、業者が回収してBDFに精製し、1台ではあるが公用車で使用している。LPGについては、平成26年度から27年度にかけて小中学校にガス式空調が導入され、冬場の暖房だけでなく夏場の冷房としても使えるようになった。学校の教育環境の改善のため、どうしても冷房を使用する分、使用量が増えているという現状である。</p>
会長	<p>公用車はディーゼルからガソリン車に切り替えたのか。</p>
事務局	<p>すべてを切り替えてはいないが、庁舎のバスの使用の見直しを図った中で軽油の使用量が減少している。</p>
会長	<p>切り替えた訳ではないということは、ガソリン車の使用が何か別の理由で増えたということか。</p>
事務局	<p>庁舎間の移動等が増加しているものと思われる。</p>
委員	<p>BDF使用車は1台ということだったが、BDFを5%（法律の上限割合）混合させると、それで5%稼ぐことができる。ものによっては100%混合も可能である。また、電灯のLED化がまだされていないようなので、財政の問題もあるかもしれないが積極的に投資されたい。</p>
委員	<p>今年是最終年度ということだが、結果の評価だけでなくいかに次に生かすか、どうやって挽回するかが大切。今ほど言われたようなLED化など、政策的な項目は多少お金をかけてでも進めないと自然には減っていかない。色々な項目があるが、何を重点にすれば効果が出るか整理されてはどうか。</p> <p>また、CO2の数値だけには出てこない取組もされているので、自分たちは</p>

	<p>どれだけ活動を実施できたのか、定量的だけでない定性的な自己評価も加えてはどうか。そうでないと結果の数値だけを見て悪い評価になってしまうので、やったことはやったこととして自己評価に含めてよいのではないか。ただし、それに甘えることなく、やはり挽回するための政策的な取組、多少お金をかけてでも実施する目玉の項目を明確にしていいただければと思う。</p>
事務局	<p>頂いた御意見を反映し、次期計画につなげていきたい。</p>
会長	<p>この計画は「率先実行計画」として作られている。これは役所が温暖化対策の範を垂れるということだと思うが、範を垂れることになっていないのが非常に残念である。どういう取組をしたらどういう効果が出るのかの分析、ある取組がどれだけ削減に寄与したのかということを示さないと、率先計画としては意味が無い。市役所の温室効果ガスの削減だけでなく、こういう取組をしたらこれだけ減らせるということを市民に知らせるというのが率先計画の役割だと思うので、次の計画からは、率先計画にふさわしいようにしていく必要がある。たとえば「ノー残業デーを設ける」とあるが、「ノー残業を毎月〇日実施した結果、〇〇の削減効果があった」などと示せるとよい。最近、政府も働き方改革を呼びかけており、温暖化対策だけでない利点もある。そうしたことも考えて、取組を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>事務局から「第2次米原市環境基本計画基礎調査報告書（最終版）」について説明（資料3）。</p>
委員	<p>将来像に併用する文章について、ただ羅列しても分かりにくいので、5分野についての箇条書き的な書き方にしてはどうか。その際は市民アンケートで出たようなキーワード、ポイントの項目を入れていただき、市民の誰もがどこかで関連するというようなものにしていただければと思う。</p>
会長	<p>文言について、「最終諮問」とあるのは「最終答申」に修正されたい。</p>
委員	<p>最終答申のイメージとして、情報発信という観点から、冊子ものを作れば終わるということではなく、SNSや映像発信をすることも考えられる。最終的な情報発信のツールについても、どこかの段階で検討をいただければと思う。</p>
会長	<p>将来像はこの中からどれかを選ぶというイメージか。</p>

事務局	<p>イメージではどれかを選ぶということになるが、検討に当たっては、それぞれのねらいや意図している重点とセットで御議論いただき、併用する文章と一緒に練り上げていきたいと考えている。</p> <p>SNSの発信について、米原市ではフェイスブックページを持っているが、環境保全課ではうまく活用ができていない。計画を作成したら、あるいは策定する過程も含めて、発信をしていきたい。また、米原市のPR動画の配信もされているので、併せて検討をしていきたい。</p>
会長	<p>現計画の一番の問題は、推進体制が計画したとおりに進まなかったことだと考えている。市民を巻き込んだチェック機能を作るような背伸びをした計画になっており機能しなかったので、地に足のついた推進体制を作るというのは大切な点である。環境に対する取組というのはあまり変わらないと思うが、庁内の推進体制、市民を巻き込んだ体制の両方について、委員の皆さんにはぜひ御意見、御提言をいただければと思う。どこの自治体も計画は作るが、計画を作っただけというところが多い。中身は立派である必要はなく、少し進めようというものでいい。それを着実に達成できるという方が結果的にはいいものになると思うので、その辺を重点に置いた計画になるようよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>関連して、パリの参加型予算配分という仕組みについて大津でシンポジウムが開かれた。従来は市民がプロジェクトを提案し、有識者がそれを審査し、予算が配分されるというかたちだが、パリの場合は市民がそれを審査する。提案した人は、街中に出て自分のプロジェクトの良さを訴え、そこで予算が決まっていくなど、審議の過程や結果が見える化される。決定の部分を有識者に任せるとはならず、市民の直接投票で決めるというのは市民を巻き込む制度としてよいと思う。今回の環境基本計画に含める市民の取組についても、市民が応募して市民が決めるという仕組みを入れても面白いと思う。</p> <p>4 閉会</p>